

八 基速だより

令和8年2月号

第412号



発行日 令和8年2月1日(日)

発行所 八王子囲碁連盟

住 所 八王子市美山町1287-9

電 話 042-651-9764

発行者 藤森 力

編集者 卷淵 正治



<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟

検索

大和田囲碁同好会の熱戦(令和8年1月18日)

卷頭言

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

八碁連理事（大和田同好会） 森本慎一

私は八王子に住んで約40年、八碁連に参加して4年になる囲碁世代の一人です。入会時は四段で、当初の大会で運と抽選に恵まれ優勝しましたが、その後は鳴かず飛ばずの成績です。今年の大会予定を見ると、各生きいき大会が34回、二段以下・三段以上大会がそれぞれ36回を数え、歴史を感じさせる数字が並びます。遡れば、私が八王子に居を構えた頃に始まった大会と思われ、先人たちの努力と熱意が今に受け継がれていることが分かります。

一方で、同好会の減少や会員数の減少を耳にすると、寂しさを覚えます。コロナ禍や人口減少、さらにはゲーム産業の隆盛といった時代の流れを思えば、やむを得ない面があることも理解できます。それでも、囲碁が人の人生に長く寄り添い、心と頭を豊かにしてくれるものであることを、身近な経験として知っている者の一人として、この灯を次の世代へどう繋いでいくかを、皆さんと共に

に考えていいければと思っています。

というのは、私事になりますが、父は二年前100歳で亡くなりましたが、囲碁が唯一の趣味で、丸山町の方にはお世話になりましたが、亡くなる直前まで碁盤に向かっていました。実力のピークは七段ほど、晩年でも五段前後はあったのではないかと思います。囲碁のおかげかどうかは分かりませんが、いわゆる認知症とは無縁で、新聞も毎日拡大鏡を使用して目を通し、ロシアのウクライナ侵攻の際は、「プーチンはけしからん」と本気で憤っていました。囲碁が生涯を通じて知的好奇心を保つ一助になっていたのではないかと、今では感じています。

お知らせ

★令和7年度第30回八碁連タイトル囲



日 時 令和8年2月8日（日）9：30～17：00

会 場 東浅川保健福祉センター 4階

タイトル 八碁連名人、八碁連王座、八碁連天狗

参加資格

令和7年度前期及び後期地区同好会タイトル獲得者（優勝者48名）

なお、タイトル戦獲得者が揃わない場合でも、各同好会は、各タイトル2名を選抜してください。（3タイトル×2名=6名、8同好会で48名の参加）

参加費 千円（昼食含む）

参加申込 各囲碁同好会長から三島競技委員長宛メールで報告

申込期限 令和8年1月25日（日）

競技方法 3組 名人戦、王座戦、天狗戦各16名。

4回戦をスイス方式で行う。会員同士の交流を深める為、参加者全員が4回戦を闘い抜き、全員で表彰式を行い、後片付けをする。

編集後記

今月の理事会では、会長から今後の各八王子囲碁同好会の発展・充実のため、八碁連はどうあるべきか、体制を含め忌憚のない意見交換を行います。総会に備えて、会員諸氏の要望や意見をお聞かせください。